

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

芸術科

教科	中学音楽	単位数	1単位	学科・学年・コース・組	3学年 A組・B組
使用教科書	中学生の音楽2・3下、中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材等					

1 学習の目標・内容・特色（目標を実現するための重要点を含む。）

表現（歌唱と器楽）と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を養う。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を養う。

2 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法		
4月	1. 歌唱 「花」（滝廉太郎）等	第1学期 期末考査	10月	「花の街」（團伊玖磨） 「自由への讃歌」等	合唱に対する取り組み		
5月	2. 器楽(ウクレレ) 「とんぼ」等		11月	2. 器楽(ウクレレ) 「Yesterday」 「ブルタバ（モルダウ）」等			
6月	3. 鑑賞 「レクイエム」から”涙の日” 「エチュードハ短調・革命」 「春の祭典」、 「交響曲第9番」「新世界より」、 「白鳥の湖」、		12月	3. 鑑賞 「ブルタバ（モルダウ）」 （スメタナ） 「ポピュラー音楽」		第2学期 期末考査	
7月	「フィガロの結婚」等		1月	4. 歌唱 「早春賦」（中田 章）			
8月			2月	5. 器楽(ウクレレ) 「トリステータ」 プリント教材等			
9月	1. 歌唱 「上を向いて歩こう」 「帰れソレントへ」 合唱コンクールの練習			3月		6. 鑑賞 「越天楽」「羽衣」 「世界の諸民族の音楽」等	第3学期 期末考査

※ 高校3年生は第4回定期考査まで受験

3 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の観点から行います。

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点の A, B, C の組合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ① 期末考査 楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲者、器楽、楽典についての知識・理解を問う問題を出題する。
- ② 実技テスト 大きな声で堂々と歌えているか等を評価する。基本的な奏法を身につけているか等を評価する。
- ③ 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができてきているか等を評価する。

1年間の評定は、一学期・二学期・三学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	芸術科		
教科	美術3	単位数 単位	学年・コース・組 中学3年生
使用教科書	美術2・3(光村図書出版)		
副教材等	木彫レリーフ板、マスク		

1.学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

①対象や画家を捉える造形的な視点について理解することにも、意図に応じて自らの表現方法を追求し、創造的に表すことができるようになる。
 ②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的、総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるように。

2.学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	オリエンテーション 木彫レリーフ		10月	仮面	
5月	木彫レリーフ		11月	仮面	
6月	木彫レリーフ		12月	仮面	仮面作品 ワークシート 感想文
7月	木彫レリーフ	木彫レリーフ作品 ワークシート 感想文	1月	自画像デッサン	
8月	空想画	空想画作品	2月	自画像デッサン	
9月	仮面		3月	自画像デッサン	自画像デッサン作 品 ワークシート 感想文

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3.評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

- ①画面の構成力や技法等、作品を作る上での基本的な知識をもとに評価。
- ②表現の意図と工夫、作品を作る上での表現方法をもとに評価。
- ③普段の授業態度や、感想文での内容をもとに評価。

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します